

平成 31 年度

事業計画書

社会福祉法人 黎明会
介護型ケアハウス ストロベリー

施設経営計画

- ① ストロベリー一年間入居稼働率 95.4%を目指します。

部 門 目 標

【運営】

- ①離職率の低下を図り、常に人材確保できるよう快適な職場環境を提供し、スタッフが楽しく安心して働ける職場作りを目指します。
- ②利用者様の生活環境の改善を図り、心豊かな生活を送れるよう設備を整えます。

【事務】

- ①施設運営に必要な事務作業を円滑に行います。
 - ・各種手続きに係る業務、経理、請求入金に係る業務を迅速かつ適正に行います。
 - ・社員情報、利用者情報の徹底管理を行います。
 - ・施設備品の調達、ご入居様の必要物品等過不足無いよう配慮します。
- ②経費削減に取り組みます。
 - ・毎月のコスト管理を行い、経費削減のための提案を実施。

【相談】

- ①施設内外問わず、多種職連携を図り、常に新しい情報をアナウンスします。
- ②外部研修・交流会など、他施設や地域コミュニティーに参加し「ストロベリー」を幅広くアピールします。
- ③「ストロベリー」の強みを伝えられる、相談援助・相談支援を行います。
- ④月毎に、目標稼働率を掲げ、目標達成に向け、入居者も介護職も活気のある施設であるよう働きかけます。

【介護】

- ①職員同士が尊重しあい、報連相を徹底、コミュニケーション能力の向上を図り「和」のある職場を目指します。
- ②利用者様を尊重し相手の立場になって行動し、焦らず丁寧な介護ができるよう研修や会議を通じ介護力の底上げを狙います。
- ③事故の無いよう安心できる環境整備に努めます。

【看護】

- ①地域医療機関と連携し早期発見早期対応し、安心安全を図ります。
- ②自ら進んで研修に参加し、施設看護としてのありかたを学び、利用者様ひとりひとりの健康維持に努めます。

【栄養】

- ①食事は生命の維持のみならず、生活の中での大きな楽しみである事を前提に、満足感のあるバランスの良い食事を提供できるよう常に研鑽いたします。
- ②調理加工にあたっては、清潔かつ迅速な加熱または冷却を心掛けます。
- ③冷凍庫、冷蔵庫内は常に掃除、消毒を心掛け、いつも一定の温度を保つようにいたします。

【介護支援専門員】

- ①人生で培ってきたほとんどのものを家に置いて施設に入居された方々の生活を、上すべりの介護計画にならないよう配慮し、実際の介護現場に即したものになるように考えます。
- ②現場スタッフの介護現状と介護計画がいつも寄添っているよう、そしてその介護が身体状況のみ重視するものでなく、「生活する」ことがご本人にとって喜びのある日常になることを目指していきます。

【施設内研修計画】

月	研修名	目的	担当
4	オムツ・パッド研修	オムツ・パッドの種類・当て方を学び、適切なケアを行う。	介護スタッフ
5	食中毒予防	食中毒の原因となる細菌やウイルスを理解し予防方法を学ぶ。	栄養士
6	リスクマネジメント研修	介護事故の危険性を知ること現場の危険予知力を向上を図り、事故防止に繋げることを目的とする。	リスク委員会
7	接遇及びコミュニケーション技術研修	施設職員として、入居者様やご家族様への接遇を学びコミュニケーション能力の向上を図り、より良いサービスを提供する。	相談員
8	臥床時ポジショニング 体位交換について	安全・安楽なポジショニング・基本的な体位交換を学び理解を深める。	介護スタッフ
9	認知症ケア研修	認知症を理解し日常のケアに反映する。	介護スタッフ
10	インフルエンザ・ノロウイルス 予防研修	インフルエンザ・ノロウイルスについて学び、予防に努める。	看護師
11	食中毒予防研修	食中毒の原因となる細菌やウイルスを理解し予防方法を学ぶ。	栄養士
12	虐待防止・身体拘束廃止研修	不適切ケアの実態を知り、虐待に対する理解を深め、利用者の立場に立ったより良い介護を目指して自発的な課題発見や日々のケアの改善につなげる。	外部研修 受講スタッフ
1	プライバシー保護について	プライバシー保護に関する取組みの共通理解を図る。	介護スタッフ
2	フリー研修及び事故防止研修	日々の業務の中で学びたいことなど、意見をまとめて研修として実施する。	内容により 担当選出
3	高齢者感染予防研修	高齢者がかかりやすい感染症について基本知識を学び、予防・対策を確実に実施するための研修。	感染委員会

【会議・委員会】

会議・委員会	日時	目的
運営会議	毎週	運営上の現状報告と課題や問題点の検討を行う事を目的とする。また、施設の方向性について検討する。各部署の問題点等について検討し、業務の改善を図り、介護サービスの向上や職員の業務の効率化を図る。
さくらんぼ・ぶどう ユニット会議	月1回	利用者様のケアサービスについて報告・議論を交わし、介護サービス内容の最適化及び介護意識の統一を行う。また、ユニット内での問題点を調整し改善を図る。
すいか・みかん ユニット会議	月1回	
リスクマネジメント 委員会	月1回	事故報告やヒヤリハットなどの実態を把握して委員会で検討し、提言や対策をユニット会議にて報告すると共に具体的対策を講じて事故防止に努める。
身体拘束廃止 委員会	月1回	身体拘束廃止の為の対策・検討・指導・マニュアルの作成。記録の整備。
行事・レク委員会	月1回	日々のレクリエーション及び季節に応じた行事を提案企画し、安全に楽しく実行する為の事前準備・当日運営を行う。
感染委員会	月1回	施設内感染の調査、対策検討、指導、マニュアルの作成。感染予防の資料やポスター作成。施設美化に努める。
給食委員会	3ヵ月に1回	食事内容（形態・献立）・栄養面や御利用者からの要望などを話し合う場とする。
防火管理委員会	必要時招集	避難訓練の実施（日中と夜間を想定し、年2回実施）緊急時・AED使用方法の研修会等を企画実施する。
苦情処理委員会	随時	苦情処理の報告と防止・改善対策の検討
判定会議	随時	面談及び情報をもとに入居可能か話し合い決定を行う。
全体会議	必要時招集	各部署より現状報告し職員全体で周知する。

平成 31 年度

事業計画書

社会福祉法人 黎明会
デイサービス ストロベリー

施設経営計画

- ①週平均利用者数20名を目指します。

部門目標

【運営】

- ①離職率の低下を図り、常に人材確保できるよう快適な職場環境を提供し、スタッフが楽しく安心して働ける職場作りを目指します。
- ②利用者様の生活環境の改善を図り、心豊かな生活を送れるよう設備を整えます。

【相談】

- ①利用曜日のキャンセル減少の工夫と新規利用者の開拓に努めます。
- ②適切な通所介護計画、通所介護予防計画により、サービスの向上を図ります。
- ③利用者様及び、家族様からの相談への丁寧かつ迅速な対応で信頼関係の構築に努めます。

【介護】

- ①在宅生活が継続できるよう自立支援を念頭におき援助を行います。
- ②利用者様の人格を尊重し、思いやりのある接遇を努めます。
- ③心身共に楽しめるような、行事・レクリエーションを企画し、質の高いサービスの提供と向上を図ります。
- ④介護予防体操のサービス向上に努めます。（職員への指導、研修の参加）
- ⑤事故防止を徹底し、安全安心な介護を提供します。

【看護】

- ①利用者様の体調変化を見逃さず、早期発見に努めます。
- ②手洗い・消毒・うがい等の徹底により感染症の予防を図ります。

【機能訓練】

- ①個別機能訓練加算Ⅱの算定に伴い、機能訓練計画書のニーズに沿ったリハビリの提供、評価及び提案を行います。

平成 31 年度 施設内職員研修計画

月	研修名	目的	担当
4	オムツ・パッド研修	オムツ・パッドの種類・当て方を学び、適切なケアを行う。	介護スタッフ
5	食中毒予防	食中毒の原因となる細菌やウイルスを理解し予防方法を学ぶ。	栄養士
6	リスクマネジメント研修	介護事故の危険性を知ること現場の危険予知力を向上を図り、事故防止に繋げることを目的とする。	リスク委員会
7	接遇及びコミュニケーション技術研修	施設職員として、入居者様やご家族様への接遇を学びコミュニケーション能力の向上を図り、より良いサービスを提供する。	相談員
8	臥床時ポジショニング 体位交換について	安全・安楽なポジショニング・基本的な体位交換を学び理解を深める。	介護スタッフ
9	認知症ケア研修	認知症を理解し日常のケアに反映する。	介護スタッフ
10	インフルエンザ・ノロウイルス 予防研修	インフルエンザ・ノロウイルスについて学び、予防に努める。	看護師
11	食中毒予防研修	食中毒の原因となる細菌やウイルスを理解し予防方法を学ぶ。	栄養士
12	虐待防止・身体拘束廃止研修	不適切ケアの実態を知り、虐待に対する理解を深め、利用者の立場に立ったより良い介護を目指して自発的な課題発見や日々のケアの改善につなげる。	外部研修 受講スタッフ
1	プライバシー保護について	プライバシー保護に関する取組みの共通理解を図る。	介護スタッフ
2	フリー研修及び事故防止研修	日々の業務の中で学びたいことなど、意見をまとめて研修として実施する。	内容により 担当選出
3	高齢者感染予防研修	高齢者がかかりやすい感染症について基本知識を学び、予防・対策を確実に実施するための研修。	感染委員会

会議

会議名	目的	参加メンバー	開催日時
全体会議	利用者様のケアサービスについて報告・議論を交わし、サービス内容の最適化及び意識の統一を図る。	施設長・副施設長 デイスタッフ	月1回
正職員会議	サービスの提案・実施及び業務の改善を行い、介護サービスの向上や業務の効率化を図る。	正規職員	随時